

平成27・28年度 土木学会第3回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：平成28年6月30日（木）14:00～17:00
2. 場 所：土木学会講堂
3. 出席者：伊藤顧問，三浦顧問，奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，大垣委員，大西委員，大山（博）委員，街道委員，加藤委員，金治委員，上原子委員，菅野委員，鬼頭委員，小林委員，高野委員，立神委員，玉井委員，趙委員，利根川委員，内藤委員，中島委員，藤山委員，古市委員，松田委員，松本（幸）委員，池田幹事，大久保幹事，齋藤（隆）幹事，平幹事，中村（一）幹事，牧幹事，松本（高）幹事，溝江幹事
(敬称略，計 34 名)

4. 配付資料：

- 委3-0 議事次第
- 委3-1 委員名簿
- 委3-2 平成27・28年度 第2回複合構造委員会 議事録(案)
- 委3-3-1 複合構造委員会組織図
- 委3-3-2 複合構造委員会の小委員会一覧
- 委3-3-3 平成28年度年間スケジュール
- 委3-4-1 メール審議結果(H216委員会の設立)
- 委3-4-2 メール審議結果(H150委員会の委員追加)
- 委3-5-1 平成27年度委員会決算
- 委3-5-2 平成28年度委員会予算(案)
- 委3-6-1 H005 土木学会論文集特集号編集小委員会委員長
- 委3-6-2 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委3-6-3 H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会
- 委3-7 複合構造委員会設立10周年記念式典の開催
- 委3-8-1 H28_審査選考結果報告
- 委3-8-2 H28_審査選考結果_別紙資料
- 委3-8-3 水工学委員会からのメール
- 委3-8-4 平成28年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書
- 委3-9-1 平成27・28年度 第5回複合構造委員会幹事会議事録
- 委3-9-2 平成27・28年度 第6回複合構造委員会幹事会議事録
- 委3-9-3 平成27・28年度 第7回複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 委3-10-1 H27年度委員会活動度個別調査書確認の依頼_複合構造
- 委3-10-2 H27年度委員会活動度個別調査書_複合構造
- 委3-10-3 参考資料1_情報発信数の数え方(H27年度)

- 委3-11-1 H27自己評価とH28計画の依頼
- 委3-11-2 JSCE2015自己評価と年度計画(3使命と9機能)
- 委3-11-3 JSCE2015自己評価と年度計画(10の重点課題)
- 委3-12 土木学会論文集A1特集号:複合構造
- 委3-13-1 平成28年度年次学術講演会(研究討論会)
- 委3-13-2 平成28年度年次学術講演会(共通セッション)
- 委3-14 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 委3-15 出版関連報告
- 委3-16-1 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 委3-16-2 H150 各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会
- 委3-16-3 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 委3-16-4 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
- 委3-16-5 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水研究小委員会
- 委3-16-6 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会
- 委3-16-7 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 委3-17-1 第1回日中ジョイントシンポジウム
- 委3-17-2 橋梁新聞記事(FRP)

5. 議事内容：

(1) 委員長挨拶

奥井委員長より挨拶があった。

(2) 第2回複合構造委員会（平成27・28年度）議事録（案）確認（委3-1，2）

滝本幹事長より，委員名簿の確認依頼があった。続いて，前回議事録(案)の確認があり，内容について了承された。

(3) 複合構造委員会（平成27・28年度）委員会・幹事会体制（委3-3-1～3）

滝本幹事長より，資料を用いて，組織図と小委員会一覧を確認した。H103とH213が今年度終了予定である。続いて，委員会スケジュールの確認を行った。今年度は，次期委員長選挙，共通セッション，FRPシンポ，論文集特集号，10周年記念式典などのイベントがあることを確認した。

【審議事項】

(4) メール審議結果の確認（委3-4-1～2）

滝本幹事長より，メール審議の経過が説明され，

- ・H216複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会の設立
 - ・H150各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会の委員追加
- の審議結果が確認された。

(5) 平成27年度委員会決算と平成28年度委員会予算（案）（委3-5-1～2）

滝本幹事長より、資料を用いて説明があった。決算は、配分1,162,000円、支出1,051,354円、残額110,646円であった。今年度は残額のないように執行に努める。予算案は、調査研究費が17万円増の98万円となり、調査研究拡充支援金が未定のため、2案を立てている。委員長選挙の年であるため、選挙管理委員会に予算を配分している。予算は増額しているが、小委の数も多く、各小委配分額は変わらない見込みである。支援金が確定次第、審議を行う。

(6) 常設小委員会および第1種研究小委員会の委員の交代・追加（委3-6-1～3）

・H005土木学会論文集特集号編集小委員会

滝本幹事長より、島委員が在外研究のため奥井委員長に小委委員長を交代する案について説明があり、これが承認された。

・H101複合構造標準示方書小委員会

西崎副委員長（小委幹事）より、小委員会活動報告と合わせて、コアメンバーとしての幹事1名・委員20名追加案について説明があり、これが承認された。なお、橋本小委委員の所属を京都大学から神戸大学に修正する。

（質問）内諾はもらっているか。

（回答）手順として内諾は必ずしも必要ないので、断られる可能性もある。

・H106FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

大垣小委委員長より、小委員会活動報告と合わせて、委員2名追加案について説明があり、これが承認された。

(7) 複合構造委員会設立10周年記念式典の開催（委3-7）

大垣委員（10周年記念事業実行委員会委員長）より、資料を用いて説明があった。日時は12月16日（金）、14～17時記念式典、17～19時懇親会。午前には第4回複合構造委員会が開催される。10周年記念報告書（仮称）を発行する。実行委員会と幹事会で準備・運営を行う。参加などが要請された。

（質問）活動報告と活動のまとめの両方は多すぎないか。

（回答）活動報告は歴代委員長の思いとし、活動のまとめはそれ以外とする。

（質問）複合委員会発足前の活動などは含まれるのか。

（回答）10周年の起点より前のことだが、連合小委員会で委員長を務められた栗田先生に触れてもらう。

（質問）参加資格はどうするか。

（回答）誰でも参加可能とする。

(8) 平成28年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果他（委3-8-1～4）

滝本幹事長より、平成28年度採択課題の紹介があった。複合構造委員会は、水工学委員会との連携を検討していたが実現ならず、平成28年度には申請をしなかった。次回は、新たに他委員会との連携を念頭に幹事会で準備を進める旨説明があり、意見などを寄せてほしいとの依頼があった。

(質問) 他委員会と組むほうがいいのか。

(回答) 募集要項には横断的であることが望ましいとしている。今回のコンクリート委員会単独での採択は近年珍しい。

(9) その他

特になし

【報告事項】

(10) 幹事会報告 (委3-9-1~3)

滝本幹事長より、資料を用いて、第5, 6, 7回幹事会の報告があった。

(11) 平成27年度委員会活動度評価、自己評価 (委3-10-1~3)

滝本幹事長より、資料を用いて報告があった。平成27年度実績2,545ptによりAランク

(2,500pt以上)を達成した。これは複合構造示方書のpt貢献が大きかった。全体予算削減により、Bランクだと委員会予算が減っていた可能性があった。引き続き情報発信数向上が依頼された。

(12) JSCE2015自己評価について (委3-11-1~3)

滝本幹事長より、JSCE2015の2015年度自己評価と2016年度計画の提出について報告があった。新しい5年間の計画になる。

(質問) 委3-11-3の「5.4 地球規模課題への対応」は示方書でいいのか。

(回答) 次回に修正する。

(13) 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (委3-12)

牧幹事 (H005小委幹事長) より、特集号の現在の状況について報告があった。まず資料委3-9-3の7.において「6/31にアップされる予定」を「5/31にアップされる予定」に訂正した。第3巻は少し遅れて6月5日に発刊された。報告カテゴリが始まり、招待論文2編、論文3編、報告8編、小委員会報告3編が収録された。スケジュールの確認があり、今後の検討事項 (第4巻の企画検討、推薦と審査の分離) の説明があった。推薦と審査の分離については以下の意見があった。

- ・編集小委が推薦すると、論文を否としづらい (否にならないだろうと著者は思う)。
- ・シンポ小委は推薦機能を持っていない。
- ・推薦がないと投稿数が減るのでは。

また、次の質問と回答があった。

(質問) 今後、投稿料はどうなるのか。

(回答) 第3巻は今年度予算を使っている。今年のFRPシンポは件数が少ないので第4巻も無料で行ける見込みである。第5巻以降は有料化がありうる。

(14) 平成28年度全国大会 (研究討論会、共通セッション) (委3-13-1, 2)

齋藤(隆)幹事より、研究討論会の準備状況の報告があった。施工をキーワードとした内容

として、9月9日（金）13～15時に開催される。参加・集客が依頼された。
松本幹事より、共通セッションの編成と時間割について報告があった。今年は一昨年と同様のセッション名称となり、並列セッションとならないように対応している。研究討論会とも同じ部屋となっている。

(15)第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（委3-14）

大久保幹事（H001小委幹事長）より、準備状況について報告があった。今年、土木学会ではなく、名古屋大学で11月24日（木）、25日（金）に開催される。論文投稿数は27編あり、前回並みの数字となっている。また、見学会を企画しており、貸し切りバスにより東レ見学施設とFRPトラス橋を見学する。

また、松本幹事（H001小委委員長）より、論文投稿者で学生区分が多いことから、一般区分でのシンポジウム参加が増えるよう、シンポジウム参加と案内の依頼があった。

(16)出版関係報告（委3-15）

大久保幹事より、資料を用いて出版物販売状況について報告があった。原価回収部数に満たないものは引き続き販売促進を図り、地方講習会での販売促進を計画しているとの説明があった。

（質問）原価回収部数はどう決まるのか。

（回答）ページ数、カラーページ数、事務局経費などにより決まる。

(17)小委員会報告（委3-16-1～7）

H101 複合構造標準示方書小委員会

議題（6）で報告済み。

H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

議題（6）で報告済み。

H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

滝本幹事長より報告があった。9月小委を目途に現原稿を修正加筆し、今年度中に改定発刊する。

H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

平幹事（小委委員）より報告があった。活動1年目を終了し、第5回まで開催した。次期示方書への提案をする。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事（小委連絡幹事）より報告があった。第2期第6回を7月20日に予定しており、残り10カ月でまとめの段階に入る。最終的には講習会を開く。

H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事長（小委幹事長）より報告があった。3つのWG活動中心に移っており、7月22日に第8回を予定している。報告書に向けた活動をWGで行っていく。新委員として、佐藤委員（首都高）が加わった。

H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

大西委員（小委委員長）より報告があった。1年が経過し、3つのWG活動に移った。

H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会

池田幹事（小委連絡幹事）より報告があった。公募を経て委員が確定しつつある。7月14日に第1回を予定しており、WGを3つ設置する。資料よりもう1名委員が追加される。

H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本幹事（小委幹事長）より報告があった。委員は確定し、第1回が6月28日に開催された。当面は小委全体で活動する。

(18)その他

・日中ジョイントシンポジウム（委3-17-1）

奥井委員長より、日中ジョイントシンポジウムについて4月1日に日中間で行われた会議について報告があった。10月21、22日にシンポジウム、23、24日に見学を行う。今回のテーマは橋梁とトンネルであり、公に開催案内をするが論文発表は声かけがメインとなる。複合構造委員会と鋼構造委員会で依頼をしているところであり、論文発表も含めシンポジウムへの協力が依頼された。

・部外からの問合せ対応報告（委3-17-2）

滝本幹事長より、部外からの問合せ（橋梁新聞からFRPについて）に対応したとの報告があった。資料の「部外からの問合せ対応手順」は1年前に幹事会で作成済みであったが、今回の委員会で対応報告とともに報告するものである。

続いて、西崎副委員長より、資料を用いて幹事会で手順①と判断し専門家の人選を行ったとの詳細対応の説明があった。

（質問）小委委員長に直接問合せがあった場合はどうするのか。

（回答）幹事会に一報してほしい。手順による対応を記録することで、委員会の情報発信件数に数えることができる。

・各種公募

滝本幹事長より、メーリングリストを通して案内している各種公募について、適宜応募することが依頼された。ただし、委員会などを通す応募は滝本幹事長に連絡する必要がある。

・H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会

滝本幹事長より、H181小委は地方講習会の開催も進行中であり、活動成果報告は次回に行うことが報告された。

以上

(記録・文責：松本)